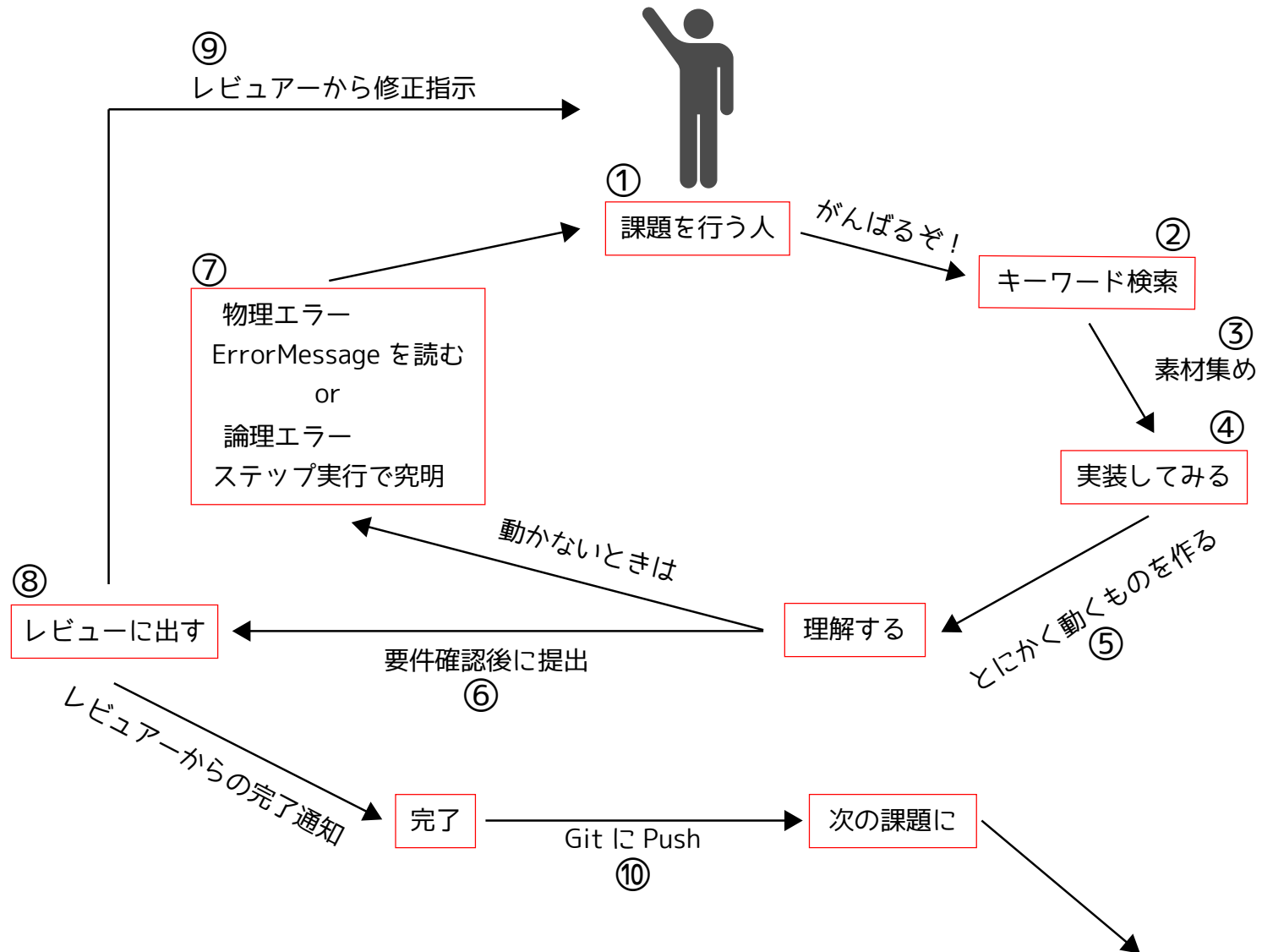


# 50問課題の進め方

---

株式会社スマートテック・ベンチャーズ

## ■ 50問課題の進め方



## ■ 50問課題の目的

---

- ・ キーワードから必要な機能を作り上げる力をつける。
- ・ ErrorMessage、Warningに対し何が起きているか理解し、問題解決するスキルを身につける。

## ■ 50問課題の取り組み方

---

- ①課題スタート。
- ②課題の「詳細」や「備考」にある単語をネットで検索する。
- ③いくつかのサイトからキーになりそうなワードを見つけていく。
- ④アプリを実装する。
- ⑤とりあえず、動く物を作る。  
→「⑥」へ  
正しく動かない。  
→「⑦」へ
- ⑥動いた場合は課題の要件を確認し、プログラムの意味を理解し、  
STVのコード規約に沿った記述に書き直す。  
→「⑧」へ

## ■ 50問課題の取り組み方

---

⑦動かなかった場合、物理エラー(\*1)はError Message、Warningを確認し、検索・修正する。

論理エラー (\*2)はステップ実行して原因を究明する。

→「①」へ

⑧出来上がった課題をレビュアーにレビューを依頼する。

⑨指摘された修正点を直していく。

→「①」へ

⑩完了通知をもらったらGithubに提出し、課題完了とする。

\*1 物理エラー・・・ビルドが通らず、アプリが落ちる。Warningがでる。

\*2 論理エラー・・・ビルドは通るが、理想通りに動かない。

## ■ 禁止事項

---

- ・ STV社員のGithubの全転用、コピー&ペースト。  
※ネット検索してどうしても分からない場合、  
STV社員のGithubを参考に改良するのは可。

## ■ 評価

---

- S Error Messageなどから試行錯誤し自己解決する。
- A 参考サイトの転用はOK、ソースコードを写経する。
- B STV社員のGithubを参考に作成する。
- C STV社員のGithubを参考にし、さらに解説してもらう。

## ■ 串田さんの思い

---

- ErrorMessageを見て欲しい。  
答えは全てError Messageに書いてある。  
※実務でもError Messageからヒントを探し出し、  
自己解決する場合がほとんどであるため。
- Error Messageは検索すれば解決方法の候補が見つかる。
- スマホ実機でしかビルド（実行）できないという事も  
エラーメッセージに出る。
- みんなエラーメッセージを見ていない。
- 最初はプロパティ、プロトコル、IBAction、IBOutlet等、  
宣言は全てヘッダーファイルに書いてしまっている。